

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.5】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は3人家族の世帯です。

乾燥前の生ごみの重さは997.9グラムでしたが、乾燥後は354.3グラムとなり、643.6グラムの減量です。画像からも生ごみの容積の減少がよくわかります。

スイカの皮やバナナの皮を程良い大きさにカットして入れたそうです。生ごみ処理機器を使用しているも、ひと手間を加えることがより良い結果につながるのかもしれない。

乾燥後の生ごみは庭の花の植え付け時に、肥料として使用しており、鳥獣対策としてより深い位置にいられているそうで、数日後に花の場所を変えるため掘り返したときに、生ごみの原型が無くなるとともに土が黒く生き生きとしているように感じたそうです。

現在は週に2回使用しているとのことですが、乾燥が終了するまで6時間以上かかるのが難点だそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp